

(図表1) 令和5年・4年名古屋北労働基準監督署管内労働災害発生状況(1月～6月)

(件)

業種	R5年	R4年	業種	R5年	R4年
小計	84	75	土石採取	0	0
製造業	食料品製造業	19	建設業	44(1)	32(2)
	繊維製品製造	0	道路旅客運送業	18	8
	木材・木製家具製造業	1	道路貨物運送業	58	59
	紙加工品・印刷製本業	14	陸上貨物取扱業	9	11
	化学工業	10	商業	73	82
	窯業土石製品製造業	5	金融・広告業	10	16
	鉄鋼・非鉄金属製造業	1	保健衛生業	129	114
	金属製品・金属家具製造業	12	接客娯楽業	33	35
	一般機械器具製造業	2	清掃業	6	14
	電気機械器具製造業	4	ビルメンテナンス業	14	13
	輸送用機械器具製造業	8	その他の事業	60	57(1)
	その他の製造業	8	合計	538(1)	516(3)

()内は死亡者数で内数である。

(図表2) 令和5年名古屋北労働基準監督署管内死亡災害発生状況(1月～6月)

業種	発生日	性別	事故の型	発生状況
建設業	2月	男	はさまれ	下請労働者が運転するドラグショベルを後退操作したところ、後方で計測作業をしていた被災者がドラグショベルのクローラに轢かれ下半身を巻き込まれ、搬送先病院で死亡したもの。

令和5年度上半期 名古屋北労働基準監督署管内の労働災害発生状況

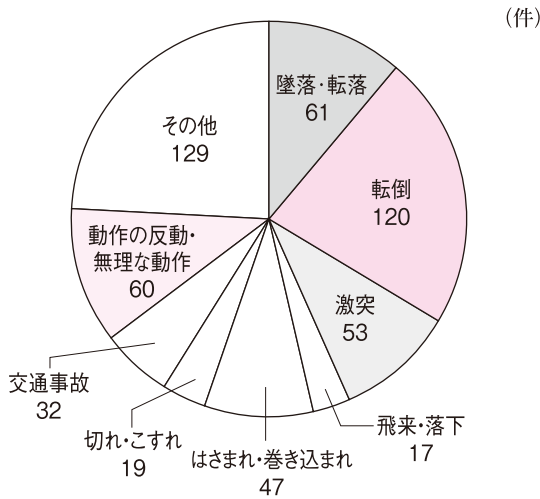
死傷者538人、うち死亡者数1人 | 前年同期比4% (22件) 増、3年連続で増加 |



名古屋北労働基準監督署管内における令和5年上半期(1月から6月末)の休業4日以上の労働災害発生状況は、死傷者数538人、うち死者数は1人となりました。これらの値を昨年同時期と比較すると、死傷者数は22人の増加、死者数は2人の減少でした。

【業種別】(図表1) 昨年同期比で死傷者数が増加している業種は、昨年引き続き新型コロナウイルスの影響が継続している保健衛生業で13%(15件)、昨年は同期比減少傾向だった建設業が37%(12件)、同じく昨年は同期比減少傾向だった旅客運送業が12.5%(10件)再び増加傾向となっています。また製造業全体でも昨年は12%(9件)増加しており、第14次労働災害防止計画は増加傾向のスタートとなっています。本年の死亡災害は建設業で発生しており、個人

(図表4)全産業事故の型別(R5上半期 死亡を含む)

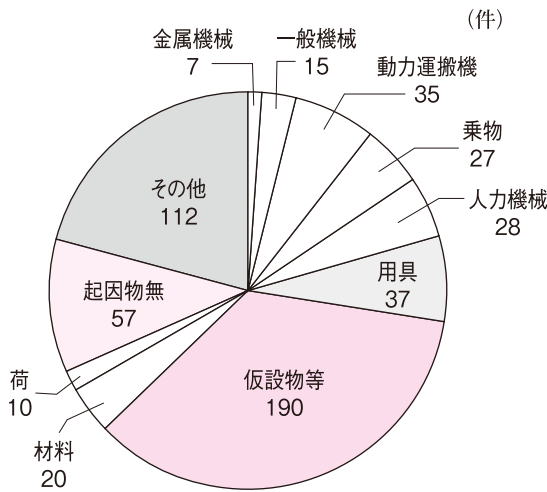


(図表3)事故の型別災害発生状況

(件)

事故の型	R5年	R4年
墜落・転落	61	65(1)
転倒	120	130
激突	53	42
飛来・落下	17	21(1)
崩壊・倒壊	12	5(1)
激突され	16	24
はさまれ・巻き込まれ	47(1)	42
切れ・こすれ	19	19
踏み抜き	0	1
高温・低温の物との接触	5	9
有害物等との接触	2	0
感電	1	0
火災	0	0
交通事故	32	28
動作の反動・無理な動作	60	34
新型コロナウイルス感染症	90	90
その他	3	5
分類不能	0	0
合計	538(1)	515(3)

(図表5)全産業起因物別(R5上半期 死亡を含む)



()内は死者数で内数である。

住宅の新築工事現場において、後退してきたドラグショベルに下半身をひかれたものです(図表2)。

建設業においては過去5年以上毎年死亡災害が発生しており、重点として取り組む必要があります。

【事故の型別】(図表3・4、起因物別(図表5)) 死傷災害を事故の型別で見ると転倒災害が120件と全体の22%を占め最も多く発生しています。そして未だに猛威を奮している新型コロナウイルス感染症も90件と16%、墜落・転落災害や動作の反動・無理な動作による災害も数多く発生しています。転倒災害では骨折等の重篤な災害となる場合も多く、全業種の転倒災害(120件)のうち51%(61件)が休業見込み1か月以上、そのうち60歳以上の高齢労働者が被災者であるものが56%(34件)となっており、

定年延長も踏まえこれから高齢労働者が増加する中、転倒災害を防止することがとても重要です。第14次労働災害防止計画においても「作業行動に起因する労働災害防止対策の推進」が挙げられています。ぜひご協力いただきますようお願いいたします。

愛知労働局では「安全経営あいち®」を旗印とし、賛同事業場を募集中です。リスクアセスメントを通じてPQCDSMEを一元的に管理し、より良い企業経営を目指しましょう。

※「PQCDSME」とは経営に重要な次の7つの視点を表します。

P: Productivity(生産性)
Q: Quality(品質)
C: Cost(原価・経済性)
D: Delivery(納期・生産量)
S: Safety(安全性)
M: Morale(士気)
E: Environment(環境)

(愛知労働局HPより)